



FUKUSHI ATSUTA

福祉あつた

特集

「寄付」がつなぐ地域と未来

～日本ガイシ労働組合と熱田区子ども食堂の繋がり～



2025年7月某日、日本ガイシ株式会社の共創施設「NGK Collaboration Square DIVERS」にて、「寄付がつなぐ地域と未来」をテーマに座談会が開催されました。

寄付元である日本ガイシ労働組合のみなさんと、寄付先である熱田区内のふたつの子ども食堂(「ちとせ子ども食堂エレファン」「しろとり子ども食堂」)の方が一堂に会し、それぞれの活動や、寄付を通じて生まれた「繋がり」の価値、そして今後の地域協働の可能性について語り合いました。

ご参加いただいたみなさん

日本ガイシ労働組合

・前田さん ・鹿山さん
・岸川さん ・須田さん
・若曽根さん

しろとり子ども食堂

・水野さん

NPO法人エレファントスピリット ちとせ子ども食堂エレファン

・山崎さん

熱田区社会福祉協議会

・若松 ・鬼頭 ・正井

日本ガisin労働組合の 地域貢献への熱い思い

司会：まずは日本ガisin労働組合の活動、特に地域貢献や寄付に関する活動についてお聞かせください。

日本ガisin労働組合 前田さん：労働組合の中には様々な専門部がありますが、その一つである福祉対策部では地域社会への貢献に繋げる活動をしております。そのうちの1つとして毎年11月から12月にかけて「年末助け合いカンパ」を実施しており、これは全社員を対象に、募金形式で自発的に参加を募っている点が特徴です。社内での認知も進んできているおかげで、寄付額も増加傾向にあります。

日本ガisin労働組合 岸川さん：「助け合いカンパ」は、私が会社に入った20数年前から既に始まっていました。今では労働組合ホームページを通じたシステムとなっており、従業員に浸透していますね。日本ガisinの従業員はみなさん真面目で福祉活動に対して理解があるんです。(笑)

司会：なぜ熱田区の子ども食堂への寄付を決定されたのでしょうか？

日本ガisin労働組合 前田さん：社員から集まった寄付金をどのように活用するか、熱田区社会福祉協議会さんにご相談したところ、熱田区内で地域に根差した活動を広げている子ども食堂の取り組みがあるとうかがい、子どもたちの集える地域の場づくりへ少しでも貢献できるのでは、という思いから、寄付を決めました。



日本ガisin労働組合の鹿山さん(左)と前田さん(右)

司会：寄付活動の「見える化」について、社員の方へはどのようにフィードバックされていますか？

日本ガisin労働組合 鹿山さん：まずは「いくら集まりました」という報告を労働組合の機関紙やホームページで行います。寄付先については、労働組合内で何度も話し合いを重ね、慎重に検討しています。寄付先決定後にも報告を行い、寄付プロセスの見える化を図っています。寄付のプロセスをフィードバックすることで、従業員からは「自分の寄付が形になったところが分かり、良かったです」との声もいただきます。情報があることで「こういう活動に使われているんだ」と納得でき、「自分ごと」となると感じています。

司会：寄付活動以外にも、企業として社会貢献活動をされていますか？

日本ガisin労働組合 前田さん：日本ガisin総務部において、最近、社会貢献グループを新設し、車いすテニスの支援や、外国ルーツの子ども向けの日本語教室なども行っています。社員が自ら手を挙げて支援に参加しています。こうした活動は、就職活動などで社会貢献への意識が高い学生等へのアピールにも繋がるものと思われます。

子ども食堂の現場から ～寄付がもたらす具体的な変化～

司会：続いて、子ども食堂を運営される中で、特にどのような課題に直面されていますか？また、なぜ寄付が重要であるのか、具体的な理由やエピソードを交えてお聞かせいただけますでしょうか。

ちとせ子ども食堂エレファン 山崎さん：私たちの活動は昨年10月に始まったばかりですが、補助金や助成金は使途が細かく定められていることが多いです。それに対して寄付金は、実情に応じた柔軟な使い方ができるため、必要なものをタイミングよく購入できるので大きな支えとなります。

しろとり子ども食堂 水野さん：私たちの活動は学校の先生からの「長期休暇後に子どもが激痩せしている」という話がきっかけで、地域の居場所をつくろうと、白鳥学区地域福祉推進協議会の事業として始まり、運営は主に女性会が担っています。食事提供だけでなく、家庭の事情で来られない子どもたちにはお弁当を届ける取り組みや、食材や日用品を持って帰ってもらうパントリーなども行っています。課題としては、運営メンバーの高齢化と、シングルマザー世帯や外国人世帯など、困りごとを抱えている世帯へのリーチをどう広げるかという点があります。

司会：今回の寄付は、子ども食堂で具体的にどのように活用されましたか？

ちとせ子ども食堂エレファン 山崎さん：いただいた寄付金で日よけ用のテントを購入させていただきました。これにより、真夏でも屋



ちとせ子ども食堂エレファンの山崎さん(左)としろとり子ども食堂の水野さん(右)

外での活動が可能になり、「子ども夏祭り」や「流しそうめん祭り」など、新たなイベントを企画できるようになりました。それにより地域の皆さんに集まっていいただける機会が増え、交流が深まります。寄付という形で応援していただけることで、「私たちはささえられているんだ」という安心感と、活動を続けていくための力をいただいています。

しろとり子ども食堂 水野さん：私たちは寄付金をお米の購入に活用させていただきました。ちょうどスーパーでお米が手に入りにくい時期だったこともあり、保護者からは非常に喜ばれました。会場に来ることが難しい家庭にはお弁当とともにパントリー品としてお米を届けているので、食に困っている家庭へ直接的な支援を行うことができました。

司会：子ども食堂は、食事提供だけでなく、地域における「コミュニティづくりの場」としての役割も担っていますよね。

ちとせ子ども食堂エレファン 山崎さん：私たちは赤ちゃんから高齢者まで全世代が安心できる「居場所」を提供することを目指しています。子ども食堂に加え、高齢者サロンやママカフェ、大学生による学習支援といった活動を行っており、多世代交流が生まれています。また、中高生などがボランティアとして活動に参加することも重視

しています。味噌汁を自分でつくることができるということをひとつのゴールと考えていて、「生きる力」を育てるということを大切にしています。

しろとり子ども食堂 水野さん：私たちも「地域の子どもたちが集える居場所」であることを目指しています。食事提供だけでなく、畑で育てた野菜を料理に取り入れたり、保健所と連携して料理教室を開催したりと、食育にも力を入れています。

パート
3

「繋がり」の価値と 未来への展望

司会：今回のように、寄付元と寄付先が直接対話する機会は、それぞれにとってどのような意義があると感じられますか？

日本ガイシ労働組合 須田さん：私にも子どもがいますが、子ども食堂については名前を知っているくらいでした。今回いろいろなお話しが聴けてとても良かったです。知ることによって参加してみようかなという気持ちになりますよね。

日本ガイシ労働組合 若曾根さん：私も今回初めて子ども食堂の活動について詳しく聞くことができ、食事提供だけでなく、食育や地域での多世代交流の場としても機能していることに驚きと新たな発見がありました。寄付によってこのような地域や多世代の繋がり

の活動を応援できていると感じています。
ちとせ子ども食堂エレファン 山崎さん：あらためてこのような素晴らしい企業が熱田区にあり、しっかりと考えて寄付してくださっていることに感動しました。直接お礼が言えるこのような場を設けていただき、本当にありがとうございます。

しろとり子ども食堂 水野さん：寄付をいただいた際には、子ども食堂で寄付元を掲示したりお礼状を書いたりしています。今回のように実際に企業を訪れたり、企業の活動も知れたことは本当によい機会になりました。

司会：この寄付をきっかけに生まれた「繋がり」が、地域の子どもたちや未来にとって、どのようなポジティブな影響を与えていくとお考えでしょうか？



日本ガイシ労働組合の
前田さん

日本ガイシ労働組合 前田さん：労働組合は従業員のための組織です。そして従業員はみなそれぞれの地域で生活しています。地域に根差した活動を進めていくことは重要であり、今後も地域への貢献活動を継続していきたいと考えています。我々の活動を知ってもら

うことで、今後少しでも多くの従業員が社会貢献活動に参加できていくとよいと思います。

ちとせ子ども食堂エレファン 山崎さん：夏祭りなどのイベントに、ぜひ日本ガイシの社員の皆さんに参加してほしいです。企業の方と地域住民が直接交流し、「繋がり」を深める貴重な機会になると思います。

しろとり子ども食堂 水野さん：例えば企業の社会見学のような協働企画を行うことで、子どもたちが企業活動を身近に感じ、地域貢献の意識を育むことができるのではないかと考えています。

熱田区社会福祉協議会 若松：社会福祉協議会は、地域の見えづらい課題（生活困窮や障害、外国籍の世帯など）を把握し、企業や地域の団体をマッチングする役割を担うことができると考えています。普段福祉と関わりの少ない人にも、地域の課題や多様な活動を知ってもらう機会を創出することを通じて継続的な活動を支援していきたいと思います。



最後に ～未来へ繋ぐメッセージ～

今回の座談会は、寄付という行為が単なる金銭的支援にとどまらず、人と人の心と活動を繋ぎ、地域社会に新たな交流と活力を生み出すきっかけとなることを実感することができました。



男性
新規参加者
大歓迎

見学
できます
(要予約)



名古屋市高齢者はつつ長寿推進事業

おひさまクラブ 参加者募集！

さまざまなプログラムを通し
はつらつとした生活を過ごすことを目的とした
名古屋市の委託事業です。

熱田区社会福祉協議会までお電話ください。
※申し込みは本人に限ります。

対象

市内在住の65歳以上の方
(会場までご自分で来られる方)

参加期間

上半期 令和7年4月～9月の6ヶ月間
下半期 令和7年10月～
令和8年3月の6ヶ月間

※年間で2期実施します。



第5次熱田区地域福祉活動計画「応援したいプロジェクト」認定事業紹介

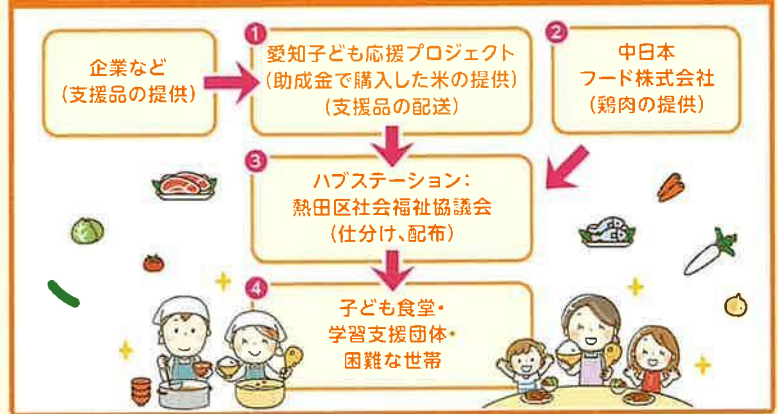
あつたか食サポートプロジェクト

熱田区地域福祉活動計画は、「ぬくといつながり」のある暮らしを目指し、地域住民と関係機関の職員が協働して策定・推進している計画です。その中で、「ぬくといつながり」に資する活動を「応援したいプロジェクト」として認定し応援しています。

「あつたか食サポートプロジェクト」は、熱田区社会福祉協議会、一般社団法人愛知子ども応援プロジェクト、中日本フード株式会社が連携し、子ども食堂や学習支援団体、困難を抱える世帯などに対して食の支援を行うことで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進める取り組みです。

愛知子ども応援プロジェクトからは助成金で購入したお米や企業から提供されたお米などの支援品を、中日本フード株式会社からは鶏肉(桜姫®)を提供いただき、熱田区社会福祉協議会がハブステーションとなっており、定期的に近隣の子どもの食堂などへ届けています。

「あつたか食サポートプロジェクト」の流れ



1 愛知子ども応援プロジェクトからは1回につき、300kgものお米が届くこともあります。



2 中日本フード株式会社からは毎月20kgほど、これまでに約500kgの鶏肉が提供されています。



3 ハブステーションでの仕分け作業は社協、利用団体で行います。



4 12カ所の子どもの食堂でいただいた食材が活用されています。



熱田区を良くするしくみ
10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金がはじまります

地域福祉の推進のために

- 学区地域福祉推進協議会への支援
- ふれあいネットワーク(見守り)活動の推進
- 生活困窮者の緊急支援 など

障がいのある方のために

- 熱田区身体障害者福祉協会活動への助成
- 熱田区手をつなぐ育成会活動への助成 など

子どもたちのために

- 子ども会行事への助成
- 留守家庭児童育成会事業(学童保育)への助成・医薬品補充
- 保育所遊具整備事業 など

高齢者のために

- 学区ふれあい給食サービス事業の促進
- 寝具クリーニングサービスの実施
- 学区敬老行事への助成 など



地域づくりのために、今年も皆さまのあたたかいご協力をお願いいたします。

令和
6年度

赤い羽根共同募金実績額 — 4,805,873円
歳末たすけあい募金実績額 — 139,467円

毎年、地域、職場、学校、企業をはじめ、多くの皆さまにご協力いただきありがとうございます。皆さまからお寄せいただいた募金の約70%が熱田区の街を良くする活動に、約30%が愛知県内の広域の社会福祉施設の整備や団体の事業等に役立てられます。より良い地域づくりのために、今年も皆さまのあたたかいご協力をお願いいたします。



連絡先

熱田区共同募金委員会(熱田区社会福祉協議会内) TEL 671-2875 FAX 671-4019

赤い羽根は「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」のシンボルです。

熱田区いきいき支援センターからのお知らせ

熱田区いきいき支援センターでは、認知症に関する各種講座や専門相談、各種イベントを行っています。ぜひご参加ください。

参加
無料

介護のコツを学ぶ 家族教室

認知症に関する基礎知識や接し方などについて医師や介護経験者等から学びます。

●対象／認知症の方を介護されているご家族の方等(10名程度)

日程	テーマ	講師
10月20日(月)	ようこそ家族教室へ	いきいき支援センター職員
11月17日(月)	認知症について正しく理解しよう	熊沢医院 熊澤和彦先生
12月8日(月)	いろいろな制度について知ろう	いきいき支援センター職員
1月19日(月)	認知症の人への関わり方を学ぼう	認知症の人への介護に携わる専門職
2月9日(月)	介護の体験を聴こう	認知症の人と家族の会

●時間／午後1:30～3:30

◎申込 開催日の4日前(木曜日)までにお申し込みください。

ほっと一息 家族サロン

「大変なのは私だけ?」「ほかの人はどうしてるの?」日頃の思いを話したり、情報交換しませんか?楽しいミニ講座も行っています。

●対象／認知症の方を介護されているご家族の方等

●日程／10月17日(金)・11月21日(金)・12月12日(金)
1月16日(金)・2月20日(金)・3月13日(金)

●時間／午後1:30～3:30

◎申込 開催日の2日前までにお申し込みください。



認知症サポーター養成講座

認知症についての正しい知識を学ぶ講座です。認知症の種類・症状・対応方法・心構えなどをお伝えします。

●対象／地域住民の方等(15名程度)

●日程／10月10日(金)・11月13日(木)・12月9日(火)
1月23日(金)・2月25日(水)・3月12日(木)

●時間／午後1:30～3:00

◎申込はいきいき支援センターに電話もしくは、二次元コードからお申込みください。

◎5名以上で集まれば出張講座も行います。ご希望の方はいきいき支援センターまで。(出張無料)

お申し込みは
こちらから



医師によるもの忘れ相談

「認知症」の知識や症状・治療、ご本人・ご家族が抱える不安などについて、医師(もの忘れ相談医)が相談に応じます。

●対象／認知症の症状等について相談を希望する方

●日程／10月24日(金)・11月28日(金)・12月19日(金)
1月15日(木)・2月27日(金)・3月27日(金)

●時間／午後2:00～3:30(一組30分程度)

◎申込 開催日の2日前までにお申し込みください。



※いずれも会場は、熱田区役所6階 熱田区在宅サービスセンターです。

～令和7年度 いきいき支援センターが実施するイベントのご案内～

あつた認知症フェスタ～9月は世界アルツハイマー月間～

9月は世界各国で認知症への理解を深める取り組みが行われています。熱田区においても、認知症の普及啓発に取り組んでいます。参加無料、予約不要。お気軽にお立ち寄りください。

●日時／9月2日(火) 午後1:30～3:30

●場所／イオンモール熱田1階 熱田広場

●内容／・血管年齢、脳年齢の測定会
・認知症や介護保険サービスなどの相談会
・認知症や介護に関連するチラシや冊子の配布

認知症になっても安心して暮らせるまち熱田「認知症啓発絵画作品展」を開催します!



認知症サポーター
キャラバンマスコット
「ロバ隊長」

認知症に関する啓発と理解促進のため、認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクター「ロバ隊長」と、認知症サポーターの証である『オレンジリング』をテーマとした小学生の絵画作品を展示します。是非お越しください!

●展示期間 熱田区役所1階 9月10日(水)～9月30日(火)
および場所 熱田図書館 10月1日(水)～10月16日(木)
イオンモール熱田3階 10月20日(月)～11月3日(月・祝)

健康寿命を延ばそう!「あつた健康倶楽部」

椅子ヨガで心身をリフレッシュしませんか?健康寿命を延ばす全3回講座の第1回目です。無理なく運動をしたい方に最適!

●日時／10月22日(水) 午前10:30～12:00

●場所／熱田区役所等複合施設6階 研修室

●対象／熱田区在住の60歳以上の方

●定員／先着25名

●申込受付／9月16日(火)～10月15日(水)まで
いきいき支援センターに電話か二次元コードから申し込み

お申し込みは
こちらから



熱田区いきいき体力測定会

大学ならではの専門的な機器を使いご自身の体力を測定してみませんか?

●日時／A日程:11月24日(月・振替休日)、12月8日(月) 午前10:00～12:00
B日程:12月1日(月)、12月15日(月) 午前10:00～12:00

●場所／名古屋学院大学たいほうキャンパス(熱田区大宝二丁目4-45)

●対象／熱田区在住の65歳以上で2日間参加可能な方

●定員／各日程先着35名

●申込／10月14日(火)～10月31日(金)まで
いきいき支援センターに電話かFAXで申し込み

ホームページは
こちらから



お問い合わせ

熱田区いきいき支援センター

住所: 熱田区神宮3-1-15 区役所等複合施設6階
電話: 671-3195 FAX: 671-1155

熱田区いきいき支援センター分室

住所: 熱田区大宝3-6-26 シャンボール日比野1階
電話: 682-2522 FAX: 682-2505

熱田児童館だより

電話：659-6307 FAX：651-7251
熱田区四番二丁目10-10

ホームページは
こちらから→



あっちゃんタイム

みんなでホールで遊びましょう。
11月は大学生のお兄さん・お姉さんが来てくれるよ。

●日 時／9月27日(土)・11月29日(土) 午後3:00～4:00
●対 象／小学生、中学生、高校生



キッズ会議

みんなの思っていることを話し合おう。子ども企画もできるよ。

●日 時／各木曜日 9月25日・10月23日・11月27日・12月25日
午後3:30～4:00 ●対 象／小学生、中学生、高校生

おしゃべり広場

エリア支援保育所の保育士さんが来ます♪

●日 時／各火曜日 9月2日・10月7日・11月18日・12月2・16日
午前10:00～11:00 ●対 象／乳幼児と保護者

チルドレンタイム

親子で楽しく遊べるプログラムがいっぱい!

●日 時／各水曜日 午前10:00～11:00 おもちゃ図書館は12:00まで実施
9月10日・10月8日・11月12日・12月10日「おもちゃ図書館」
9月17日・10月15日・11月19日「うたってあそぼう」
9月24日・10月22日・11月26日「リズムであそぼう」
●対 象／乳幼児と保護者

ベビータイム

●離乳食のおはなし

栄養士さんによる離乳食についてのお話しです。

●日 時／9月12日(金) 午前10:30～11:30
●対 象／5か月～11か月のお子さんとその保護者 15組
●申 込／9月5日(金) 午前10:00～

電話申込可
先着順

元気なお口の育て方

歯科衛生士さんによる「元気なお口の育て方」についてのお話しです。

●日 時／10月17日(金)・12月12日(金) 午前10:30～11:30
●対 象／乳幼児と保護者

ベビーマッサージ&マニキュア

マッサージを通してゆったりと親子でふれあいの時間を過ごしましょう!

●日 時／11月14日(金) 午前10:30～11:30
●対 象／3～9か月のお子さんとその保護者 15組
●申 込／11月7日(金) 午前10:00～

電話申込可
先着順

おもちゃ病院

こわれたおもちゃを修理します。

●日 時／9月14日(日)・11月9日(日) 午前10:00～12:00
※電子ゲーム不可

おはなし会

熱田図書館による読み聞かせです!どんなおはなしが聞けるかな?

●日 時／11月28日(金) 午前10:30～11:00
●対 象／乳幼児と保護者

ちびっこクリスマス会

親子でクリスマス会を楽しみましょう♪

●日 時／12月5日(金) 午前10:00～11:00
●対 象／乳幼児と保護者 20組 ●申 込／11月28日(金) 午前10:00～

電話申込可
先着順

クリスマス会

みんなでクリスマスのゲームをして楽しみましょう♪

●日 時／12月14日(日) 午後2:00～3:00
●対 象／小学生～高校生 40人
●申 込／12月7日(日) 午前10:00～

電話申込可
先着順

熱田福祉会館だより

電話：659-6306 FAX：651-7251
熱田区四番二丁目10-10

ホームページは
こちらから→



はつらつ体操

椅子での体操とヨガマットを使用した体操を行います。

●日 時／①10月6日(月)②12月15日(月)③2月16日(月)
いずれも 午前10:15～11:45
●講 師／小俣 友子さん ●定 員／30人
●申 込／①10月1日(水)②12月8日(月)③2月10日(火)
いずれも 午前9:30から電話で先着順



なつかしの曲でエクササイズ

リズム体操、筋トレ、ストレッチなどを楽しくエクササイズ

●日 時／①9月30日(火)②10月30日(木)③1月6日(火)
いずれも 午後1:30～3:00
●講 師／金子 真美さん ●定 員／45人
●申 込／①9月1日(月)②10月6日(月)③12月15日(月)
いずれも 午前10:30から電話で先着順

医師による健康相談

10分程度の個別相談です。お気軽にご相談ください。

●日 時／毎月 第3水曜日 午後1:30～2:30 ※10月の健康相談はお休みです
●担 当／熊澤和彦医師 ●定 員／各5人
●申 込／開催日の1週間前 午前9:30から電話か窓口で先着順

健康講話&椅子ヨガ

「認知症とその予防について」の講話の後、椅子ヨガを行います。

●日 時／10月15日(水) 午後1:30～3:30
●担 当／熊澤和彦医師、ヒロヨガ教室 神原浩文さん ●定 員／35人
●申 込／10月8日(水) 午前9:30から電話で先着順

リフレッシュヨガ

ゆったりと体を動かしましょう

●日 時／①11月10日(月)②1月19日(月) いずれも 午前10:15～11:45
●担 当／南川 江里子さん ●定 員／30人
●申 込／①11月4日(火)②1月14日(水)
いずれも 午前9:30から電話で先着順

ロビーコンサート (あつた児童館との共催事業)

ピアノとバイオリンの生演奏をお楽しみください。

●日 時／11月21日(金) 午前10:00～11:00
●担 当／ミュージックサーフィン 古川 洋子さん、他
●定 員／20人(満席の場合は立ち見)
●申 込／11月14日(金) 午前9:30から電話で先着順



善意の灯

(令和7年1月1日～6月30日分)

皆さまからいただいたご寄付は、熱田区の地域福祉に使用させていただきます。ありがとうございました。
熱田区社会福祉協議会では、地域福祉活動を充実させるためのご寄付を受け付けています。皆さまのご協力をお待ちしております。

●小木曾 曉美 様 ●勝又 弘子 様 ●名古屋工学院専門学校高等課程生徒会 様 ●日本ガイシ労働組合 様 ●熱田区仏教会 様 ●匿名 12件

お申し込み・お問い合わせ

社会福祉法人

名古屋市熱田区社会福祉協議会

熱田区神宮三丁目1番15号 区役所等複合施設6階

06-FUKUSHI ATSUTA

TEL:671-2875 FAX:671-4019

URL <http://atuta-shakyo.jp/>

E-mail atutaVC@nagoya-shakyo.or.jp

熱田区社会福祉協議会

検索

●「福祉あつた」は、カラーユニバーサルデザインを考慮して制作しています。